

活動報告（9月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村整備課

表題：静岡県立農林環境専門職大学の学生が「農山村デザイン演習」を行いました

日時：令和4年9月13日（火）

場所：静岡県浜松市



都田川ダムについて説明



白檀の棚田で草刈り体験

9月13日(火)から16日(金)の4日間、浜松市北区引佐町で、県立農林環境専門職大学の2年生6人が「農山村デザイン演習」を行いました。本演習では、引佐地域の代表者や浜松市・当所農村整備課職員による引佐地域についての説明や交流を通して、地域や地域住民が抱える課題を発見し、学生の視点で新たな解決方法を見出すことを目的としています。

1日目は、引佐協働センターで、参加者の自己紹介、浜松市の概要・ふじのくに美しく品格のある邑・つなぐ棚田遺産に認定された白檀の棚田について説明を行いました。午後からは、県が整備した渋川親水農村公園や都田川ダムに移動し、地域の歴史や施設の役割について理解を深めました。

2日目は、白檀の棚田で鎌を使って草刈り体験を行う等、地元農家と積極的に交流しました。

3日目は、当所職員による基盤整備事業の説明を行いました。午後からは、龍潭寺や井伊谷宮、井伊谷城跡で住職や神主、地域の代表者による地域の歴史についての説明がありました。最終日は、浜松市による多面的機能支払交付金の説明や地元花き栽培農家への訪問を行いました。

今後、棚田の稲刈り等の地域イベントへの参加、地域の人たちへのヒアリング等を経て、3月9日に同大学で成果報告会が予定されています。

西部農林事務所では、今後も地域の魅力を発信し、農村地域への交流人口を増やす等の地域活性化のための取組を推進していきます。